

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、授業方法を変更する場合があります。
変更がある場合はお手紙やホームページ等でお知らせしますので、随時ホームページをご確認ください。

みんな知りたい オンライン授業受講『キホンのキ』

コロナ禍の中、オンライン授業の機会が増えました。
本校では「YouTube」や「Google Meet」を使用していますが、「何のこと？」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか？
そこで今回は、オンライン授業受講の『キホンのキ』をお知らせします。

「YouTube」って何？

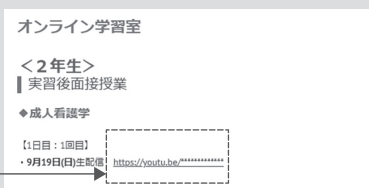
オンライン上で動画を共有することができるサービスです。
本校では、授業風景を撮影して配信する時に使用しています。

＊リアルタイムで視聴できる【生配信】の場合と、都合のよい
時間に視聴できる【オンデマンド配信】があります。

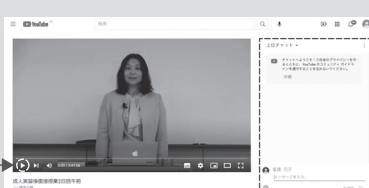
「YouTube」で授業を視聴する

①本校ホームページから、「オンライン学習室」に学籍番号を
入力してログインします。

②「オンライン学習室」に
掲載されている該当授
業のURLをクリック
します。



③「YouTube」の画面が開
いたら、再生ボタンをク
リックすると動画を視
聴できます。



＊【生配信】の授業では、チャットを使って質問もできます。

＊チャットの内容は、視聴者全員に自動配信されます。
＊ニックネームを使用している方は、質問に氏名を入力してください。

「Google Meet」って何？

Google社が提供しているオンラインでの会議システムです。
お互いの顔を見ながら、双方向でやり取りをしながらの授業
を受けることができます。

また、少人数でのグループワークを行うこともできます。

「Google Meet」で授業に参加する

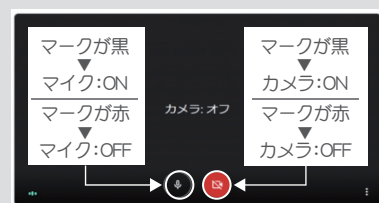
①教員からGmailで学校から付与したアカウントに該当する授
業のURL を、お送りします。

②教員からのGmailに記載
されている時間になっ
たら、URLをクリック
してください。



③マイクとカメラのオン・
オフの方法を確認して
おきましょう。

＊マイクとカメラをオン(それ
ぞれのマークが黒い状態)に
して参加してください。
＊マークをクリックするとオン・
オフが切り替わります。



④音声(マイクをONにして)や、チャットを使って質問すること
ができます。

＊詳細は、「オンライン学習室」内の＜GoogleMeetの使い方＞に
記載していますので、併せてご覧ください。

学校からの お知らせ掲示板

● 第 111 回 看護師国家試験 の日程が
決まりました

試験期日

令和 4 年
2 月 13 日(日)

合格発表

令和 4 年
3 月 25 日(金)
午後 2 時

＊手続き等については、別途学校からお知らせします。

● 出願希望者の紹介制度について

9 月 1 日(水)から、次年度入学生の「入学願書」受付が始まり
ました。

本校の卒業生又は在校生の紹介により入学された方には、**特典
(テキスト代の一部減免)**があります。同僚やご友人で出願を
希望される方がいらっしゃったらぜひご紹介ください。

出願書類に「紹介シート」の同封が必要なため、卒業生・在校
生の皆さまは「紹介シート」に必要事項を記入の上、早めに出
願者にお渡しください。

なお、在校生の皆さまには 9 月末に「紹介シート」を送付して
います。

『Try! up!』は、看護師国家試験合格を目指す皆さんを応援します。
「上を目指す!」という思いを込めて学校通信のタイトルとしました。

〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号
東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

TEL ● 022-292-2511 FAX ● 022-292-2611 webサイト▶
E-mail ● tfns_info@tohoku-kango.com URL ● https://tohoku-kango.com/



Try! up!



Vol. 44 [2021年11月1日発行]

令和 3 年度 第 1 回オープンキャンパス開催しました!



令和 3 年 8 月 28 日(土)に今年度第 1 回目のオープンキャンパスを開催しました。
新型コロナウイルス感染者急増のため、宮城県にも前日の 27 日から緊急事態宣言が
適用されることとなり、急きょ「オンライン」での開催となりましたが、当日は 20 名弱
の方にご参加いただきました。



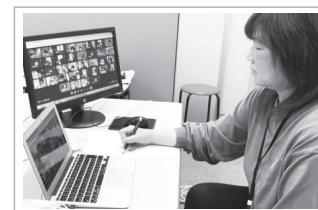
まず YouTube によるライブ配信で、「学校の概要(学習の流れ等)」「出願方法」について
説明、休憩後「模擬授業」と「臨地実習の概要」の説明、希望者には「放送大学」について
説明しました。その後お電話で進学にあたり心配なことなどをお伺いしながら、じっ
くり相談する時間を設けました。模擬授業は、母性看護学担当の夢原先生による『いの
ちの授業』。「卵巣の大きさはどの位?」など解剖も含めながら妊娠のしくみを解説、そ
して受精・着床に至るプロセスを動画で見てもらい、「生まれる」ことの奇跡、いのちの
大切さについて考えてもらう内容でした。

参加された方からは、「画面越しの説明でもわかりやすかった」「模擬授業に感動した」
「オンラインで模擬授業を受講でき、コロナ禍での学習イメージがわいた」「入学に向
け準備する内容がわかった」などの声が聞かれました。

今後の状況によりオンラインへの変更も想定されますが、2 月まで各地で計 18 回の学校説明会を予定しています。
9 月 1 日からは令和 4 年度入学生の「入学願書」受付を開始しました。在校生や卒業生の紹介制度もありますので、
同僚やご友人で進学を希望されている方がいらっしゃったら、ぜひお声がけください。

コロナ禍の中での学び ～新型コロナウイルス感染症終息に向かうことを祈って～

7 ～ 9 月に 1 年次の基礎看護学実習と 2 年次の 6 領域病院等見学実習が実施されま
した。昨年度は、精神看護学実習以外すべて代替方法に変更となったことを振り返る
と、貴重な臨地実習の機会となりました。



また、前期の面接授業では感染予防対策をとりながら対面授業を実施。参加した学生
からは「オンデマンドでの受講よりすごく分かり易い」「情報交換ができて、これから
一緒に頑張ろうと思った」といった声が聞かれました。まだまだ勤務先より移動自粛
指示を受けている学生も多いですが、移動自粛要請が解かれた時には、是非、志を同
じにする仲間と机を並べて切磋琢磨していきましょう。

9 月からは、全国的な緊急事態宣言を受けオンライン授業に変更となりましたが、
YouTube による配信授業に加え、基礎看護学、老年看護学、在宅看護論の各実習後面
接授業では Google Meet を利用した双方向授業を実施。グループワークで互いの顔を
見ながらの意見交換とグループ発表を行うことができました。実習後面接授業試験
をオンラインで行った科目もあり、学生の皆さんはモバイル機器操作も慣れてきた
ように思われます。



11 月からは対面での授業を再開します。教員は学生の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。2 年生の皆
さんは孤独感を感じながら国試勉強を進めていると思いますが、疑問や悩んだ時には遠慮せず学校へご連絡くださ
い。一緒にこの状況を乗り切っていきましょう。

勤務先の皆さまにも引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

＊新型コロナウイルス感染症の流行状況により、授業方法を変更する場合があります。
変更がある場合はお手紙やホームページ等でお知らせしますので、随時ホームページをご確認ください。



小野寺 敏江 先生

教務主任／看護の統合・看護管理担当

皆さん、こんにちは。私は今年度「看護の統合」の紙上事例演習と「看護管理」のレポート課題を担当しています。

看護を管理するとは、看護の目的に向けた活動の成果を得られるようにすることであり、それぞれの立場で行う仕事の中に組み込まれています。

私はナイチンゲールが『看護覚え書』の中で述べている「あなたがそこにいるとき自分がすることを、あなたがそこにいないときにも行われるよう対処する方法」という説明が分かりやすいと思っています。皆さんは在学中、職場での看護、家庭での家事や育児、学生としての学習など、様々な立場での管理を考え、実行しながら生活されています。

皆さんの日々の管理は成果を得るためにあります。皆さんが方法に困ったとき、悩んでいるときは相談してください。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



鈴木 利恵子 先生

小児看護学担当

令和3年4月から小児看護学を担当しております、鈴木利恵子と申します。

3月まで、3年課程の教員として、福島に8年、山形に9年おりました。その前は、進学コースで5年教員をしておりましたので、2年課程に戻ってきた感じがします。

しかし、通信での教育は紙面を通しての関わりが多いため、面食らっております。面接授業もコロナ禍のため配信が多くなっています。学生さんからの質問も受けることができず、授業内容わかったかな？と悶々としております。

ここでは教員1年生です。早く仕事を覚えて、学生の皆さんのお役に立てるように頑張っております。わからないことは一人で悩まず、メール等でご連絡いただければお答えします。よろしくお願いします。

学生通信

『お互いの存在を支えに 看護師への道をともに歩む』

今回は、本校では珍しくご兄弟で入学された、柳原和希さん(兄)・川口由平さん(弟)のお二人にお話をうかがいました。

職場も一緒という大変仲が良いお二人ですが、看護師を目指すきっかけはそれぞれ。「私の場合、小学生の時の入院がきっかけでした。看護師は女性の職業というイメージがありましたが、そこでお世話になった看護師さんは男性だったのです。とてもかっこ良く頼もしい存在でした」と、看護師になることは子どもの頃からの夢だったという柳原さん。一方、弟の川口さんはもともと別の道を目指していましたが、母の勧めで兄の柳原さんと一緒に准看護学校に通い始めました。「はじめは自分の中でも葛藤がありましたが、准看護師の免許取得をきっかけに看護師もいいなと気持ちが変わりました。本校への入学も兄から誘われて…」

同じ職場にいた本校の卒業生でもある先輩から学校のことを聞いていたこともあり、コロナ禍でしたが、就業経験7年を待ってすぐに本校へ入学。しかし、入学して約半年一。登校できたのはたった1回のみという学生生活について、「医療従事者として、コロナの感染源になってはいけないというプレッシャーの中、毎日を送っています。そのような状況下で、自宅で安心してオンライン授業を受講できることは大変ありがたいと思っています。学校に通っている実感は湧きにくいですが、画面越しでも着実に知識を身に付けられていると感じます」と川口さん。



1年生

左 柳原 和希さん：兄
(秋田県・30代・病院勤務)

右 川口 由平さん：弟
(秋田県・30代・病院勤務)

柳原さんも授業や実習を通して、初心に帰り看護を実践できていることに喜びを感じているそうです。「これまで何となく行っていた『患者さんへの声がけ』を改めて見直すことができました。患者さんとの信頼関係を築き、より多くの情報を引き出せるような関わり方を心がけるようになったのも、本校で学びその重要性を再認識したからこそだと思っています」

本校に通う学生の多くは、家庭や仕事を抱えながら勉強しています。お二人も勉強時間の確保が何よりの課題といいます。「まとまった時間を作ることが難しいので、子どもが寝た後や仕事の休憩時間などに、少しずつでも勉強するようにしています。弟とはなかなか時間が合わないので、一緒に勉強したことはありませんが、レポートで行き詰まったときなど、気軽に相談できたり考えを聞けるので、とても心強いですね」「返却されたレポートを見せ合うことで違った視点や考え方を知り、視野を広げることができるのも嬉しいです。兄と一緒に入学して本当に良かったと思っています」と、お互いの存在を支えに、目の前の課題を乗り越えている様子うかがえました。

きっかけこそ違いますが、ともに歩み始めた看護師への道。「さらに学びを深め知識を身に付けて、自信をもって看護を提供できるようになりたい」という同じ目標に向かって、支え合いながら学習を積み重ねているご兄弟でした。

私たちがバックアップします！

看護の現場から 第19回

本校創立からこれまで

継続的に職員の入学を勧めている、

宮城県仙台市にある松田病院。

忙しい日常業務の中で、

どのような視点や手法で職員の「学習」を

バックアップしているのか、

どのような思いで職員を送り出したのか、

阿部美香看護部長にお話を伺った。

阿部 美香
看護部長

准看護師の学びへの思いに対し、 どのように支援されてきたのでしょうか。

看護師はもちろん、医療や福祉の学校へ進学したいという思いを持った学生を対象に就学金制度を設けています。

また、本院では多くの職員が働きながら学ぶことを経験しています。学ぶ大変さも喜びも理解している職員が多いので、「学びたい」と思った時に周囲の協力を得られやすい環境だと思います。学びを進める職員が優先的に休暇を取得できるのももちろん、通学等で不在の際には、いつでも他の職員がフォローできる体制が整っていますし、何かあった時にも上司、部下関係なく、相談しやすい関係性が自然とできているように感じています。

職員の学びは職場に影響を与えますか。

学びを深めた職員は、視野が広く、深く変化すると感じています。また、表情も行動も活き活きとしますね。カンファレンスで看護師としての意見を述べる際や患者に対して説明をしなければいけない時にも自信を持って伝えられるようになります。それは、他の職員にとっても、患者にとっても安心感につながると思いますし、本人のやりがいにもつながるのではないのでしょうか。

その活き活きとした姿が他の職員の気持ちに火をつけ、「何年後には自分も看護師に」と声が挙がるいい連鎖が生まれていると思います。

東北福祉看護学校に通う職員の方に 期待することは。

職員が学びを通し、医療・福祉の知識と技術はもちろん、人として成長することが、本院の目指すところである「安心でぬくもりあるケア」につながると考えています。

看護師として自信を持って現場に立つためにも、一つひとつの学びをしっかり自分のものにしながら、一人の人間として成長して欲しいと思います。

From the Spot

医療法人 松田会
～ 松田病院 ～

医療法人 松田会 松田病院

宮城県仙台市泉区実沢
字立田屋敷17-1



昭和57年(1982年)松田外科整形外科医院として開院。その後、松田病院(一般病床49床・回復期リハビリ病床48床・地域包括ケア病床28床、合計125床)に形を変え、今日に至る。身近なかかりつけ医として、地域のニーズに応えるため、医療・介護サービス機能を拡充を継続して行う。なにより患者や利用者が安心して尊厳ある人生を送ることが出来るよう、優れた医療・福祉サービスを提供することを目指す。

自信を持って、 力を発揮できるように

1年生 山田 智恵美 さん(40代)



私は本院に長く勤めているため、新しく入職した職員に指導する場面が多くなっています。しかし、入職する若い職員の中には看護師の資格を取得している人も少なくありません。そうした中で「きちんとした立場で自信を持って指導したい」という想いを持つようになっていたところ、所属長や先輩方に「看護師を目指したら」と背中を押していただき、進学を決めました。

いざ入学してみると、考えていた以上の課題の量に驚きました。特にこれまで関わりが無かった分野の紙上事例では分からないことも多く、とにかく調べるようにしています。「よく耳にする病名でも掘り下げるとこんなに深いんだ」と気付くことも。コロナ禍でなかなか対面授業が受けられない中、迷ったり悩んだりした時には、本校を卒業した先輩方にすぐ相談するようにしています。身近に同じ経験をしている先輩が多く、気軽に相談できる環境があるという事はとても心強いことだと感じています。

他にも、シフトを最優先で調整してもらえたり、急な変更にも快く対応していただいたりと、職場の皆さんのおかげで、大きな不安を感じることなく学びを進めることができます。

看護師への学びを始めてまだ半年ほどですが、協力してくれる職場の皆さんや、家事を手伝ってくれる子どものためにも、まずは看護師国家試験合格を目指して頑張りたいと思います。そして、経験の上にはっきりと『看護の根拠』を身につけることで、自信を持って現場で力を発揮し、患者さんにとっても同僚にとっても頼りになる看護師になりたいと考えています。